

第 49 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	林亮輔ゼミⅡ	チーム名	Official 髭マンディズム
タイトル	キャッシュレス決済について～私たちの経済生活をより豊かに～		
テーマ群	b)財政・金融、e)産業・企業、g)その他		
メンバー			
研究計画内容	<p>「キャッシュレス決済で 10%ポイント還元!」「お買い物代金全額ポイント還元キャンペーン」。そんな誰もが飛びつくようなキャッチコピーをインターネットや SNS,テレビで頻繁に目にするようになった。今現在、キャッシュレス決済というテーマに多くの企業が参入をして自社のサービスへの顧客獲得を目指し熾烈な争いが繰り広げられている。さらに 2018 年には経済産業省が「キャッシュレス・ビジョン」の策定を打ち出し国挙げてのキャッシュレス化の推進に乗り出した。今最もホットなテーマともいえる。だがそのような流れとは裏腹に思うような推進や顧客獲得が進んでいない現状が存在する。実際、何十何百億円ものばら撒きにも近いキャンペーンを何度も行っていることが思うように進んでいない裏付けであると考え。今回、キャッシュレス化の停滞に焦点を当てる。</p> <p>目的として、日本が現金主義である原因の探求から始め、普及の遅れの原因である本質と現金とキャッシュレス決済における効用の比較など複数のポイントをアンケート調査や回帰分析、相関係数などのデータ分析を必要に応じて用いることでデータ収集を行い、多角的観点から論理的に把握することとする。</p> <p>成果としてキャッシュレス化推進の停滞に対して、ゼミから日本に合ったキャッシュレス化推進の政策提言をいくつか行えることを掲げる。また研究を行い理解や知識を身に付ける過程で今後の我々の経済活動においてメディアや目先の出来事に流されることなく生活をより豊かに、つまり効用最大化を行えるような本質を見極める力を身に付けることが出来ると考える。</p>		